

～～第8553回～～

十二ヶ岳

～H30. 11. 10～

前日の雨がうそのように止み絶好の山行日和となった。支部長宅を定刻に出発。朝霧を経て富士五湖の一つである西湖に着く。登山口はすぐに見つかったものの駐車場が分かりにくくキャンプ場の管理人に聞きやっとな確保できた。「十二ヶ岳登山道入口・旧根場通学路」の看板があった。旧根場通学路は西湖の水が増水して通れなくなった時の通学路だったという。最初から急登が続き水分補給や衣類調整等をしながらトンネルから来る分岐を通過。すでに下山してきた外国人パーティーにも出会う。後からきたパーティーにもどんどん離されさすが若さには勝てない。我々はゆっくりと登る。右手に毛無山からのアップダウンが青空の下にはっきり見えた。低いながらも手ごわい山だと実感する。登山道もロープやクサリとなり時間もかかる。頂上直下で安全な場所を確保し、昼食をとる。毛無山から十二ヶ岳を登り長浜に下山する人も多く、数人と出会うものの登山道が危険なため、時間がかかる。13:00 小さな石造りの祠がある山頂(1683m)に到着。往路を帰る予定だったが、危険箇所が多いので支部長の指示で金山・鬼ヶ岳経由で帰ることにした。十二ヶ岳を過ぎると急な下りに設置されている数本のロープを使って下る。慣れないと苦戦する垂直下降だ。するとすぐに岩尾根が続き三点確保をしながら慎重にいくつかのコブを通過。スリル満点の登山道だ。14:20 金山(1686m)に到着。少しの休憩をはさんで鬼ヶ岳(1738m)方面を目指す。登山道も少しずつラクになるものの油断は禁物。互いに注意を喚起しながら雪頭ヶ岳に15:15。冬の夕暮れは早くバス停に着いた時はすでに暗かった。何よりも無事に下山できて安堵した。

参加者：6名（富士宮）

天候：晴れ

地図：河口湖西部・鳴沢

コースタイム：十二ヶ岳登山口 925…分岐…昼食 1220-45…十二ヶ岳 1300…金山 1420…鬼ヶ岳 1500…雪頭ヶ岳 1515…根場 1700

記録：富士宮支部 丸田